

2019年6月入職

くすもとたまみ
楠本珠美



看護師という職を全うしたい、その思い

患者さまに、本気で向き合っている

善仁会グループに入職してから、本当に自分がやりたかった仕事に取り組んでいると実感します。これまでは手術室看護師や眼科外来などに関わってきましたが、ただただ慌ただしい日々で、患者さまときちんと向き合って看護する機会はほとんどありませんでした。60歳という節目の時期が少しずつ視野に入るなかで、看護師という仕事を悔いなく全うしたいと思い、チーム医療で患者さまにサービスを提供できる善仁会グループに転職しました。

入職前の希望通り、患者さまと接する時間はこれまでより格段に増えています。それは、ただ「接する」というよりも、患者さまお一人おひとりに「本気で向き合っている」と表現するのが的確かかもしれません。今まで以上に患者さまのパーソナルな部分まで、ご家族さまとやり取りを交わすこともあります。透析治療は1日4時間以上、かつ長期にわたって患者さまと関わっていくので、看護師の職務としては難しさ、大変さがありますがその分だけやりがいも大きいと感じます。

知らない世界が、どんどん広がっていく



善仁会グループに転職した理由として、もう一つ大きいことは研修制度が充実していたことも挙げられます。感染症への対策も、コロナ禍以前から力を入れていました。入職してから知らない世界がどんどん広がっていて、思いやりエキスパートの研修を受けたのも、純粋に新しいことを学べると感じたからです。思いやりエキスパートは責任も重く、一度はお断りしたのですが、上長からの「あなたならできる」という言葉に背中を押され、チャレンジを決めました。

研修を通して、普段ほかのスタッフに対して直した方がよいのではと思っていたことが、実は自分自身もできていなかったということに気づきました。特に忙しいときは思いやりの気持ちが持てずに厳しく接してしまうこともありました。しかし、患者さまの病状が少しでも良くなるように優しく見守ることが、私たちの役割です。決しておごることなく、これからも成長し続けたいと思います。



笑顔と思いやりのある行動で
真心のこもった看護を
提供していきます。

楠本珠美